

## Build Live Japan 2017 課題

2017年9月

Build Live Japan 2017 の課題は、千葉県木更津市の鳥居崎海浜公園（木更津市富士見三丁目5番）を課題敷地とした再整備計画である。

敷地活用の方向性を踏まえて、利用者の属性や利用目的に応じた複数の敷地活用シナリオを設定し計画を検討すること。

また、シンボリックな「中の島大橋」や海際ならではの開放感、強い風、近隣の既存店舗や港など特徴のある既存資源を活かし、連携による相乗効果にも注目した活性化を目指すこと。

### 1. BIM 活用の例

- 利用者の属性や利用シナリオなどに応じて、敷地に入出入りする人の流れ（回遊ルート）や、敷地内の施設間の利用者の動き、人数等のシミュレーションを踏まえて規模を設定すること
- 計画する施設は海岸沿いのため強風が見込まれるため、シェルター形状や構造について想定される風雨に対する有効性をシミュレーションのこと

### 2. 敷地活用の方向性

- 課題敷地に人を集めて、活性化を目指す
- 課題敷地、イオンモール、JR 木更津駅の回遊を誘発
- 課題敷地は個人でも家族で利用できるエリアとする

### 3. 想定する条件

敷地のポテンシャルを高めることを意図し、敷地外の条件について、現実には存在していない想定を追加することとする。

- 歩道整備  
（イオンモール<->鳥居崎公園<->JR 木更津駅周回）
- 自転車通路の整備  
（イオンモール<->鳥居崎公園<->JR 木更津駅、バスデポ、・・・）
- 水上バス  
（イオンモール<->鳥居崎公園<->JR 木更津駅周回）
- 乗り捨てレンタル自転車が営業  
（例：ドコモバイクシェア、HELLO CYCLING、ポロクル、モバイク、ofo など）

- 自転車タクシー事業者が営業  
(例：シクロポリタン、ベロタクシーなど)

#### 4. 制限事項

- 自衛隊木更津基地の滑走路による高度制限に留意 (+45m)

#### 5. 敷地に配置する機能

配置するそれぞれの機能に必要な空間ボリュームは、機能毎に決定し、検討プロセスを示すこと。  
設けるスペースは、下記以外にも提案可能とする。提案する際は理由を示すこと。

- 津波避難機能
- 既存の記念物 (移設可)
- 防風、防雨、日よけのシェルター機能
- 以下に例示するスポーツ関連スペースから適宜選定
  - ・ プール、更衣室、ロッカールーム、シャワー室
  - ・ アウトドアコート、インドアコート、イベント広場、芝生広場
  - ・ その他、提案するスポーツ施設 (3on3 コート、ポルタリング場など)
- 以下の飲食関連スペースから適宜選定
  - ・ カフェ、テイクアウトレストラン、デイキャンプ場 (炊事場)
- 以下のイベント関連スペースから適宜選定する
  - ・ イベント広場、(花火大会、台船ステージ向けの) 観覧席
- 以下の交通関連スペース
  - ・ 駐車場 (一部を軽トラ市開催会場と兼用)
  - ・ 駐輪場
  - ・ 自転車タクシー営業拠点、乗り捨てレンタル自転車駐輪場
  - ・ 水上バス船着き場

#### 6. 構造

- 耐震、耐津波を配慮のこと
- 大断面木構造の提案も可

#### 7. 提出案のプログラミング資料、施設一覧、面積表等の提出

各チームの提出案の意図を的確に把握できるように、以下の内容を含む資料を提出（データ共有サーバにアップロード）してください。（ファイル名は内容が類推できれば違ってよい）

- 提出案に至るプログラミングの各段階の検討情報、採用した利用シナリオとそれに対応する機能・用途、規模などの検討資料（プログラム.pdf）
- BIM ツールにて検討した対象、中間評価、判断などのプロセスの記録（BIM プロセス.pdf）
- 配置計画、動線計画。平面、断面計画など（配置動線.pdf、平面断面.pdf）
- 提出案を構成する施設等の機能・用途毎の面積一覧（面積表.pdf）
- 提出 IFC モデルには、機能・用途を明記した IFCspace を入力すること（提出モデル.ifc）

以上

敷地周辺の状況と想定

